

# Git コマンドラインでの更新・コミット・プッシュ手順

以下は、**git clone** → リモート更新取得 → ローカル変更 → コミット → プッシュ までの手順をマークダウン形式でまとめたものです。

## 1. リポジトリをクローン

```
git clone <リポジトリURL>
cd <リポジトリ名>
```

## 2. 最新の変更を取得（作業開始前）

作業を始める前に、必ずローカルを最新状態にします。

```
git checkout main          # mainブランチに移動（名前が異なる場合は調整）
git pull --rebase origin main
```

`--rebase` を付けると履歴がきれいになります（mergeコミット不要）。

## 3. ローカルで編集・変更

ファイルを編集、追加、削除します。

## 4. 変更内容をステージング

変更を Git に登録します。

全ての変更を登録する場合：

```
git add .
```

特定ファイルのみ指定する場合：

```
git add <ファイル名>
```

---

## 5. コミット

```
git commit -m "変更内容の説明"
```

---

## 6. プッシュ前に再度リモートを確認

他の人の変更が追加されている場合があるため、再度 pull → rebase します。

```
git pull --rebase origin main
```

コンフリクトが出たら修正後：

```
git add <修正したファイル>  
git rebase --continue
```

---

## 7. リモートにプッシュ

```
git push origin main
```

---

## 最短まとめ（軽微な変更で競合なし想定）

```
git clone <repoURL>  
cd <repo>  
git checkout main  
git pull --rebase origin main  
# --- ローカルで編集 ---  
git add .  
git commit -m "update"  
git pull --rebase origin main  
git push origin main
```

---

**補足：** - ブランチを使わず `main` に直接コミットする運用を想定。 - チームでの開発なら `feature` ブランチを切ってからプルリクエストするのが望ましい。